

育成だより

第29号

平成22年3月22日

貝塚中学校区

青少年育成委員会

北貝塚小の放課後子ども教室（わくわく子ども教室）は、月曜日に子ども英語教室、金曜日に学習教室、それ以外に年数回、イベントを企画して実施しています。

今年度は、新型インフルエンザの流行のために活動が中止になることが多く、なかなか予定通りに活動できませんでしたが、二月八日（月）に今年度最後のイベント「もちつき」大会を行いました。

当日は、参加した約百三十名の子どもたちと保護者の皆さんでつきた

てのおもちをおいしく食べました。また、子どもたちは、もちつきを体験することもできました。

指導員の本庄茂さんや協力員の戸村聡さん、椎名和紀さん、またコディネーターの今麻代さんを中心に準備から会の運営までご協力いただきました。また、お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんまで平日にも関わらず、お手伝いに来て下さいました。

素敵な思い出ができました。

北貝塚小学校 教頭 小山一成

放課後子ども教室 わくキャン「もちつき」大会



福祉研究大会の報告

貝塚中学校 教頭 神作 稔

十一月十九日（木）に「千葉市社協福祉教育研究大会」が貝塚中学校で行われました。

当日はあいにくの天気でしたが、千葉市教育委員会教育長をはじめとする来賓の方々を迎え、「貝塚中学校の活動実践発表」、「ふれあいトークスベシヤル（福祉講話）」、千葉市ボランティア連絡協議会等各種ボランティア活動を展開している団体の方々の協力により「実践体験セミナー」が実施されました。

貝塚中学校の発表では、一年生の

学年生徒会が今年度の取り組みを発表しました。生徒会主催の「エコキヤップボランティア」、各学年の「花いっぱい運動」、美化委員会の「クリーン作戦」、生徒会の募金活動などです。

このほか、特に一年生で取り組んだことを紹介しました。道徳の授業で世界の子供たちの様子について学習したり、「JICA国際協力出前講座」で世界の様子を聞くことができたこと、また車椅子で生活する藤代氏の講演を参考に「バリアフリーマップ」づくりに励んだことなどです。

「人は皆同じく共にくらしやすい地域づくりのために」という演題で高梨憲司氏（社会福祉法人愛光視覚障害者支援事業部長）の講演がありました。『自分にしかできないことがあれば、それでいいんだという高梨さんの話がすごく印象に残りました』

（生徒の感想）たくさん生徒が高梨さん話に引き込まれていました。

実践体験セミナーでは、手話体験、点字体験、車椅子体験、環境ボランティア体験、リサイクル体験、高齢者疑似体験、家庭介護体験などの体験活動を行いました。『いろいろな体験ができてよかった。活用できればと思った』（生徒の感想）など、九割を超える生徒が充実した時間を過ごせたという感想を持ったようです。



PTAソフト市の大会優勝 バレーは準優勝

子どもたちの活躍で
笑顔がいっぱい

桜木小学校教頭 高橋 尚志

運動面では、十月の陸上大会で男子は、走り高跳びで大会タイ記録を出し、100m走とリレーの二種目で第一位を獲得しました。また、一月の球技大会では、サッカー、ミニバスケットボール共に五年ぶりにダブル優勝し、大いに盛り上がりました。他にも十一月の青少年の集い東部ブロック球技（ドッジボール）大会で3位入賞、地域の正月マラソンでは小学生男女の部で共に優勝するなど、目覚ましい活躍ぶりでした。

学習面でも、個々に多くの児童が

去る十月二十四日（土）に、千葉公園体育館で行われた千葉市PTAバレーボール大会において、我が桜木小PTAバレーボール部は見事に準優勝しました。

また、十一月一日（日）、宮野木ふれあい広場で行われた千葉市PTAソフトボール大会で、本校PTAソフト部は、全勝で栄えある優勝を飾りました。

さすが「ス

ポーツの町・

桜木」お父さ

ん、お母さん

の大活躍でみ

んなに勇気と

感動を与えて

くれました。



絵、書、論文、作文等の作品で入賞しましたが、特に秋の県課題図書感想文コンクールでは入賞者が多く、学校の賞をいただきました。また、長年の租税教育推進の功績で東税務署から学校表彰を受け、共に立派な盾をいただきました。

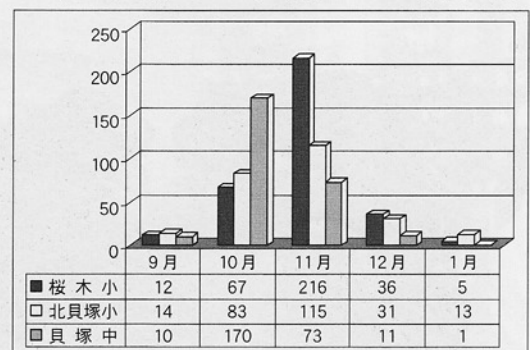
今後も子どもたちが生き生きと活躍する姿が見られるよう、地域の皆様と共に手を取り合いながら努力して参りたいと思います。

平成21年度 インフルエンザの影響

昨年から猛威をふるったインフルエンザの影響で、各学校とも9月からインフルエンザによる欠席者が増加し始め、貝塚中学校は10月、桜木小学校や北貝塚小学校では11月がピークになり、それぞれ100人以上もの子ども達が罹患、欠席しています。

そのため各学校ともうがいや手洗いの励行、マスクの着用やアルコール消毒等の予防に努めました。

■インフルエンザによる欠席者数
(21年9月～22年1月) 単位：人



平成二十一年度 千葉市青少年問題協議会

育成委員会会長 関塚 昭男

青少年健全育成功労者表彰式が去る平成二十一年九月十九日（土）に千葉市生涯学習センターホールにおいて熊谷市長、志村教育長、市議会佐々木議長等多くの方の出席祝辞のあとありました。

貝塚中学校関係では

◎個人では、安西 稔 氏

(都賀南部町内会長)

(育成委員会会計監査)

◎団体では、貝塚中学校協力が表彰されました。団体表彰は三団体で有山氏が代表で表彰状を受けました。

団体表彰された協力は貝塚中元PTA会長、役員等で構成され校内での枝切りや草刈り、芝刈り、学校のバザー等大いなる協力、奉仕をいただいております。

◎又、安西氏におかれましては町内会長十年以上としてさる平成二十一年十一月十八日（日）市民の日に京葉銀行プラザにおいて熊谷市長より市政功労者表彰を受賞されました。これからも地域のため更なるご発展とご活躍を期待し、心からお祝い申し上げます。



七月十八日～八月二十二日に夏祭りパトロールを実施しました。桜木と都賀地区の二班に分かれて活動しました。参加者は桜木方面三名、都賀方面三名でした。

八月三十一日と十二月二十三日に都賀駅周辺点検活動パトロール計画でしたが、八月三十一日は台風のため中止となりました。十二月二十三日(祝日)は参加者七名で実施いたしました。西口、東口の二班に分かれパチンコ、本屋、コンビニ、カラオケ、ゲームセンター等点検パトロール活動を実施。部会としてこの活

動ができたのは非常に良かった。参加の要請方法含め一つの方向にいたったと自負しております。

地域の子どものために良い環境づくりを地道であるがこんな活動が大切であると思います。参加者のみなさん「苦勞様」でした。謝々 以上



↑レクリエーション部会

工藤 顕介

今年には防災訓練の研修旅行を東京の本所消防署に隣接した「本所防災館」にて行いました。

内容は、水の入った消火器を使つての消火訓練(映像の火に向かって消火器を発射しました)結果はたった一グループだけが消火に成功しました。

次に、ダミーの人形を使ったAEDの訓練、これは日ごろの訓練が功を奏しみんな上手にできました。

最後に、煙の中を避難する訓練を行いました。電気が消えた中、実際

の建物の中を使つての訓練でしたので、ほとんどの人が脱出不成功という結果になりました。

毎年私たちの町で九月一日の防災

の日に行われている防災訓練と同じものでしたが、実際の建物

の中で避難の難しさが印象に

残りました。



↑環境・非行対策部会

安藤 登

一月九日から一週を会期として、都賀コミュニティセンターと桜木公民館、二か所のロビーを会場に今年度も健全育成部会主催の小中学生書初め展を開催しました。

小学六年生の作品は「夢を育てる」、中学一年生の作品は「伝え合う心」でした。

一年の事始めとして、その年の心構えや抱負などを書く書初めに相応

しい課題ですね。子どもたちが夢を持ち、少しずつ育て、お互いに伝え合う心で過ごす一年になってほしいものです。合わせて三百三十枚余りを展示しましたが、新年の新たな気持ちがいっぱいでした。皆さんの作品が気持ちよかったです。どちらの会場もたくさんの方に見ていただけた事と思います。書初め展にお運びいただいた皆様、ありがとうございました。

21年度各部会からの活動報告

福祉・交通安全部会 ↓

前島 孝夫

昨年から引き続き「福祉・交通安全部会」の部会長として活動をさせていただきました。本年度任期二年が終わるのですが、自分自身の活動実態としては、年間活動予定通りには充分出来なかったと反省しております。

昨年も記事にした各校セーフティーウォッチャー、交通安全推進隊の方々との

連携についてですが、何人かの方は兼務されていますが、決して連携がとれているわけではなく活動が個人任せになっていることも現実です。

部会の活動としては、学校の長期

休暇直後に交通安全指導を行ってき

ました。気づいたことは、横断歩道

が近くにあるにもかかわらず、道路

を横切っている生徒もまだ見受けら

れます。大人も子供の前でも交通ル

ールを守られていない。大人が見本



→健全育成部会

佐藤 賢一



サマーキャンプ

川村リエ



今年度は八月一日、二日、昨年に引き続き、千葉市少年自然の家へ行ってまいりました。

一日目は秋元牧場までのハイキング、ザリガニ釣り、映画鑑賞、夕食を食べてからのナイトハントでは、班ごとに屋外に設置したカードを探すゲームで、暗闇の中、夜の自然を体験することができました。

二日目、毎年恒例となったクライミングウォールでは、汗だくになりながらそれぞれが自分自身の限界に挑戦し、笑顔と歓声が響き渡りました。最後のプログラムは、クラフト室での創作活動でした。自分達で集めてきた葉っぱをスタンプに使い、バンダナとエコバックを作りました。カラフルで芸術的、個性的な作品がたくさん出来上がり、良い記念となりました。

りました。二日間を通し、参加した皆さんそれぞれの笑顔がとても印象的なサマーキャンプでした。参加していたいただいた皆さん、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。来年度のサマーキャンプも、多くの方の参加を相談員一同お待ちしております。

貝塚中学校協力会の

活動報告

貝塚中協力会会長 有山 守

私たち協力会も設立十一年を迎え、年々充実した活動を行っております。平均年齢も五十台半ばと、貫禄あるオヤジ達の集団で、昨年七月には市P連機関誌に「おやし学校へ行こう」という記事を寄稿し、九月には千葉市青少年健全育成成功労者として団体受賞の栄誉に授かりました。

このように外部でも認めていただけるようになり、益々パワーを増して、貝塚中バザーでは焼鳥・お餅等を千食完売する記録を達成しました。

今後とも貝塚中には無くてはならない存在として、益々「協力会の輪」を広げて参ります。



●貝塚中学校より

「職場体験学習」の実施について

地域の皆様のご協力により、貝塚中学校二年生の「職場体験学習」も四年目を迎えました。毎年、事業所の方々には大変お世話になり、生徒も体験の中から多くのことを学んでおります。体験を終えた生徒たちは「やりがいを感じた」「仕事は大変だと感じた。」など感想を言っていました。

今年度もまた、次のように「職場体験学習」を実施する予定です。昨年度同様、学校から紹介する事業所だけでなく、自ら希望する事業所に



直接お願いする場合があります。できるだけ強く希望する「職場」を体験することにより、より将来について学ぶ機会になって欲しいと考えています。尚、生徒数の増加に伴い、受け入れていただける職場数が現在不足しています。地域の皆様で職場体験が可能な事業所をご紹介いただければ幸いです。

①期 日 平成二十二年十一月十八日(水)～二十日(金)

②対象生徒 第2学年生徒

③連絡先 貝塚中学校

TEL 043-231-7077

FAX 043-232-4937

編集後記



本年度はインフルエンザの影響で予定された活動も実施できなかったものもあります。児童、生徒の放課後の活動や陸上大会等の活躍状況。PTAバレーボール大会。各部会の活動報告等を中心に編集いたしましたので御一読を。

広報部会 日暮 規夫